

令和8年度 第1回平塚市地域公共交通活性化協議会
協議会委員からの意見

協議会当日に協議したい事項や情報提供したい項目について照会したところ、協議会委員から次のとおり意見がありましたので、内容について共有いたします。

- ① 令和7年3月に、平塚市立地適正化計画及び平塚駅周辺地区将来構想が策定されました。
昨年度から将来構想のコンセプトである「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」の実現に向けた具体的な活動がはじまり、今年度は平塚市都市マスタープラン(第3次)策定、そして第2次平塚市総合交通計画策定もスタートとすると聞いております。
まちづくりの基盤に関わる一連の計画を改定し、これまで未着手な案件や次世代に向けた重点課題の取り組みの行動計画になっていくものと考えますが、全体のロードマップ、相互連携関係について教えていただけると市民とともに創ることの理解度がアップすると思います。
- ② 50～60 年が経過した駅舎(ラスカ含め)ならびに駅前広場については利用者行動の変化や新技術導入を踏まえたモビリティハブ機能の強化、スマートステーション化を検討すべきタイミングだと思います。
現在進行中の「リビング構想」をより実効性あるものにするためにも駅南北の一体化する「新しい平塚の玄関づくり」の議論が重要かと思います。

1 計画の改訂について

(1) 策定期間

- ・平塚市都市マスタープラン(第3次)策定: 令和8年度～令和9年度
- ・第2次平塚市総合交通計画策定: 令和8年度～令和9年度

【現在の計画体系と改訂の方向】



※各種検討会議、市民からの意見聴取等を共同で実施

※交通に関するアンケート、ビッグデータの解析等は、第2次平塚市総合交通計画策定において実施し、必要に応じて都市マスタープランへフィードバック

2 平塚駅周辺地区将来構想について

(令和7年度第2回平塚市地域公共交通活性化協議会資料から抜粋)

平塚駅周辺地区将来構想(令和7年3月策定)から一部抜粋

《まちづくりのコンセプト》

平塚駅周辺地区をみんなのリビングに

～充実した日々の中にときめきを感じられる
それぞれが居心地の良いまちづくり～

住む人、働く人、遊びに来る人、事業を始める人など、誰もがそれぞれのお気に入りの空間や体験を見つけることができるように、平塚駅周辺地区を家の中で家族が集まり、くつろぎ、様々な目的に合わせて過ごす「リビング」に見立てます。

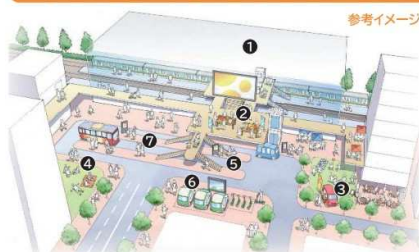
平塚駅周辺地区では、市民、事業者、行政が連携して多様な活動、交流が展開される空間や仕組みを地域資源[※]や多様な人材、新技術などを活用して創出することで、様々な人が快適に安心して過ごし、充実した日々の中にときめきを感じられる居心地の良い「リビング」のようなまちを目指していきます。



《駅前広場の将来像》

■北口駅前広場の将来像

様々な公共交通へ乗り換えやすく
多様な活動と平塚の魅力に出会える拠点



- ① 平塚の魅力を感じられる機能の検討 方針1
- ② 余暇活動など様々な活動を行える場づくり 方針2
- ③ 店舗と一体的な活用による滞留・交流空間の創出 方針2
- ④ 沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
- ⑤ 地下空間の有効活用を検討 方針6
- ⑥ 最新技術に対応した多様な交通に乗り換えられるハブ機能の整備 方針6
- ⑦ 自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

方針① 対応するまちづくりの方針を示しています。なお、複数の方針が対応している場合は、代表的な方針を示しています。また、地区全体に関わる方針は記載せず、当該エリアの特徴的な方針のみ示しています。

■南口駅前広場の将来像

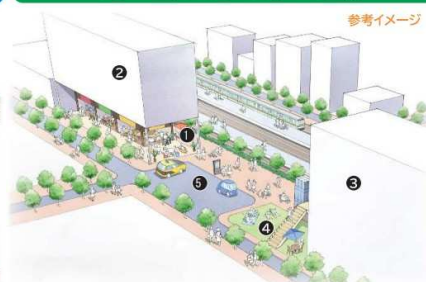
様々な公共交通へ乗り換えやすく
海を感じる交流拠点



- ① 海が感じられるイベントの実施 方針2
- ② 多くの人が集まる機能を誘導 方針3
- ③ 沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
- ④ 自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

■西口駅前広場の将来像

より快適に電車に乗り換えられる
平塚の活力を感じる新しい拠点



- ① 店舗と一体的な活用による滞留・交流空間の創出 方針2
- ② 多くの人が集まる機能を誘導 方針3
- ③ 近隣の民間建物と連携した再整備 方針4
- ④ 沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
- ⑤ 自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

方針① 対応するまちづくりの方針を示しています。なお、複数の方針が対応している場合は、代表的な方針を示しています。また、地区全体に関わる方針は記載せず、当該エリアの特徴的な方針のみ示しています。

